

2021年2月28日

関西学生ハンドボール連盟
理事長 中川 昌幸

リーグ戦の中止および代替試合の開催について

新型コロナウイルスの新規感染者数は減少してきていますが、**コロナ変異株の感染者が近畿各府県で確認されており**、いずれも感染経路は不明で市中感染したとされています。また、変異株は徐々に全国にも広がってきている状況で、この感染率は従来のもものより50～70%高いことが分かっています。

このことを考えると状況が完全に好転したとは言い難いのが現状です。緊急事態宣言が解除されると市中の人流が増えることは確実で、一般市民へのワクチン摂取が始まらない中ではいつ・どこで・誰が感染するか分からない状況が続くことが予想されます。このことを踏まえて関西学生ハンドボール連盟では2月27日の理事会において、**期間の長いリーグ戦の開催は、危機管理上開催すべきではない**との結論に達しました。みなさまのご理解を賜りますようお願いいたします。

なお、代替試合については4月下旬から5月にかけて短期間で行うことを計画しています。また男子1、2部、女子1部に関しましては、その試合を8月に福岡市で行われる予定の西日本学生選手権大会への出場権決定戦とすることを理事会で決定いたしました。また男子3部以下、女子2部以下につきましても短期間で同時期に代替となる試合を行う予定です。(詳細につきましては決定次第、ご案内します)。

代替試合については、昨年12月に行ったWinter match が大阪府の自粛要請により途中中止となったこともあり、1試合でも多くやりたいという学生の気持ちを考えると同じことを繰り返さないためにも不測の事態が生じた場合については、しっかりとした対策を考えて対応していきたいと考えています(中止とはせず、その試合を延期する等)。こちらについても決定次第、ご案内します。

皆さまのご理解を賜りますよう、何卒よろしくお願いいたします。